

社会で必要とされるデータサイエンススキルと研修・普及の方策

発表者・所属

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-30-4

株式会社 Rejoui 代表取締役

データサイエンティスト協会 スキル定義委員

菅 由紀子

Email : info@rejoui.co.jp

実業界におけるデータサイエンススキル研修の課題と実践例

IoT 技術の発展や 5G の開始、量子コンピュータなどの実用化によってますますデータの利活用は注目を浴びています。また、企業におけるデジタル技術の活用（そこからの新たな価値創造）である DX(Digital Transformation) の推進ニーズが高まっており、そのため AI を理解できる・活用できる人材に対するニーズも高まる一方です。そういった背景があるため、データリテラシーのある人材のニーズは高まる一方ですが、企業における人材育成においては費用面や育成する側の人材不足などの様々な課題があります。また、「実務により近い」形での実践研修を行うことが望ましいことは明らかですが、使用するデータの権利・セキュリティ状況などの問題から制約があるケースも多く存在します。クラウドの利用や処理端末の問題も起こりがちな課題があります。これらを勘案し Rejoui 社で提供している実業界向けのデータサイエンス関連スキル研修について紹介します。

データサイエンティスト協会における学校教育支援

データサイエンティスト協会スキル定義委員では、小学生向け・中学生向け・高校生向けにそれぞれデータサイエンティストとしての職業体験が行えるプログラムを、指導ガイドとともに提供しています。また、これらを用いた指導の実践もお手伝いしております。これまでの活用事例や、利用方法についてご案内します。

女性データサイエンティスト人材育成

データサイエンティスト、アナリストはかねてより独立しやすい職業です。また、そのうえで効率的な働き方も追求しやすい職業です。環境を整えば（セキュリティに十分考慮した上で）いつでもどこでも仕事ができます。独立時の初期投資も小さくて済みます。企業や組織に属して働くとしても、効率的に働き、仕事以外の自分自身のやりたいこと・あるいはやらなければならないことに時間を割くことは他の職種に比べてやりやすく、そうであるからこそ女性にデータサイエンスのスキルは必要です。また、AI・機械学習にデータをインプットしていく、それを社会適用していく際にも公平性や倫理観を意識して行えるか否かという点においても、データの利活用シーンにおける公平性・ジェンダーパリティはたいへん重

要です。スタンフォード大学発、ジェンダーに限らずこの領域における人材育成、活躍支援を行う活動である WiDS(Women in Data Science) の世界各国における活動内容や、スタンフォードで作成されている高校生向けの教材などをご紹介します。

高等教育における機械学習・データサイエンス指導支援

令和4年度から高等学校「情報Ⅱ」においてデータサイエンス・機械学習の基本の指導が開始されます。それに先立ち、総務省統計研修研究所主催・Rejoui が委託を受けて作成している学習用教材の内容と開発に際してのポイント、2021年2月20日、21日に実施されたセミナーの実践内容、今後の計画についてをご紹介します。